

自己点検・評価シート

基準 I 建学の精神と教育の効果

		自己点検・評価のための観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期	
基準 I-B 教育の効果	① 教育目的・目標を確立している。	1	学科・専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立している。	本学科の教育目的は、「科学的に裏づけられた理論と体育・スポーツの実践をおこない、心身の健康ならびに体力の保持増進について、指導的役割を担う有為な女性を養成することであり、本学の建学の精神である、高い知性と善美な情操と高雅な徳性とを兼ねそなえた有為な女性の育成に基づき確立されている。		
		3	学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に応じて定期的な点検している。	本学科は、学校や企業、地域社会で活躍できる優れたスポーツ指導者の養成を目指しており、その人材養成が地域・社会の要請に応じているかの適切性については、「教育課程や教育内容の在り方等について「教育内容検討委員会」で定期的に点検している。		
	③ 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針（三つの方針）を一体的に策定し、公表している。	1	三つの方針を関連付けて一体的に定めている。	学科における入学者受入れの方針、卒業認定・学位授与の方針、さらに教育課程編成・実施の方針は、それぞれを関連付けて一体的に策定している。		
		2	三つの方針を組織的議論を重ねて策定している。	学科における入学者受入れの方針、卒業認定・学位授与の方針、さらに教育課程編成・実施の方針は、学科内および短期大学部自己評価委員会で検討するなど組織的に議論を重ね策定している。		
		3	三つの方針を踏まえた教育活動を行っている。	入学者の受入れ方針は、短大入学時の新入生ガイダンスでも確認している。同時に卒業認定・学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針においても入学時ガイダンスと初期演習を通じてクラス担任及び学科の教務委員から丁寧に説明し、学生に確認させている。このように、三つの方針を踏まえた教育活動は適正に行われている。さらに、授業評価アンケート(アセスメント)を学期ごとに実施し、学科の教育目指・目標に基づいた教育内容の改善のための取り組みを行っている。		

自己点検・評価シート

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

			自己点検・評価のための観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
基準Ⅱ-A 教育課程	① 学科・専攻課程ごとの卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を明確に示している。	1	卒業認定・学位授与の方針は、それぞれの学習成果に対応している。	各科目のシラバスの科目目的、到達目標、授業内容、授業計画、授業方法、準備学習の内容、成績評価の方法・基準、卒業認定・学位授与の方針を明示しており、ディプロマポリシー達成に必要な学習成果を分かりやすく示し対応している。		
			①卒業認定・学位授与の方針は、卒業の要件、成績評価の基準、資格取得の要件を明確に示している。	卒業の要件は、履修便覧及びホームページにおいて明示し、成績評価の基準はシラバスに明記しており、各資格取得の要件は履修便覧に記載している。		
		2	卒業認定・学位授与の方針は、社会的・国際的に通用性がある。	各科目の単位は、国際的な広い視野と高い倫理観を持ち、なおかつ科目毎に設定された学習成果[「知識・理解」、「技能・表現」、「思考・判断」、「態度・志向性」]を満たした者に認定しており、社会的・国際的に通用性がある。		
		3	卒業認定・学位授与の方針を定期的に点検している。	本学科におけるディプロマ・ポリシー達成のために重要な項目と科目については、「教育内容検討委員会」で定期的に点検している。		
	② 学科・専攻課程ごとの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を明確に示している。	1	教育課程編成・実施の方針は、卒業認定・学位授与の方針に対応している。	学科の教育目的に基づいてディプロマ・ポリシーが策定されている。それを踏まえて、健康・スポーツ学科の教育課程をどのように編成・実施するかの方針（カリキュラム・ポリシー）が策定されていることから、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーは教育目的を達成するために密接な関わりがあり、ディプロマ・ポリシーを達成するための手段・方法として、教育課程が編成されている。		
		2	教育課程編成・実施の方針に従って、教育課程を編成している。	学位授与の方針に掲げる能力を修得させるために、基礎教育科目、専門教育科目から教育課程を体系的に編成している。		
			①短期大学設置基準にのっとり体系的に編成している。	短期大学設置基準にしたがって体系的に編成している。		
			②学習成果に対応した、授業科目を編成している。	本学科の教育課程は、学習成果を獲得するために必要な科目を体系的に編成している。本学科では、「教職コース」と「ヘルスケアコース」を設け、「教職コース」では中学校教諭二種免許（保健体育）の資格、「ヘルスケアコース」では社会的にも評価される種々の資格を取得することができ、学習成果の一つである資格取得が可能な科目を編成している。		
			③単位の実質化を図り、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、年間又は学期において履修できる単位数の上限を定める努力をしている。	本学科の教育課程は、学習成果を獲得するために必要な科目を体系的に編成、またそれをカリキュラムツリーで分かりやすく可視化している。また各科目の予習・復習に費やす学修時間を確保するために年間を通じて履修できる単位の上限を設けている。		
			④成績評価は学習成果の獲得を短期大学設置基準等にのっとり判定している。	本学科の成績評価は、短期大学設置基準にのっとり判定している。		
	3	教育課程の見直しを定期的に行っている。	大学の健康・スポーツ科学科の教育課程と並行し、次年度の履修便覧の点検時期に合わせて教育内容検討委員会にて年間3回程度定期的に点検し、見直している。			

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

			自己点検・評価のための観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
			1 入学者受入れの方針は学習成果に対応している。	本学科は、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、健康・スポーツ教育・競技スポーツの現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めている。それに基づいて、入学時まで身に付けてほしい学力・能力として、1)知識・技能および思考力・判断力・表現力、2)主体性を持って多様な人々と協働する力、3)体育やスポーツ分野における実践力を掲げており、入学者受入れの方針は高等学校までの学習成果に対応している。		
		⑤ 学科・専攻課程ごとの入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を明確に示している。	3 入学者受入れの方針は、入学前の学習成果の把握・評価を明確に示している。	入学時まで身に付けてほしい学力・能力として、①知識・技能および思考力・判断力・表現力②主体性を持ってたような人々協働する力③体育やスポーツ分野における実践力を研ぎ入学後の学修に臨むことを明確にしている。		
			4 入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応している。	入学選抜については、全学的な実施体制に従い、本学科が掲げる目的や養成する人材に応じて透明性の高い公正で複数の機会が持てる入学試験を行うことが明示されている。具体的には、公募制推薦入試前期では実技試験を必須としており、得意種目(19種目から1種目選択または、文部科学省の新体力テスト実施要項(12～19歳対象)に則った基礎運動能力テストのいずれかを志願者に選択させることを明示しており、入学の受け入れ方針に対応している。		
			5 高大接続の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準を設定して、公正かつ適正に実施している。	高大接続の観点からは、全学的な方針のもと適正な合否を行っている。また、公募制推薦入試(前期実技試験を含む)では選考基準を設定して公正かつ適正に実施している。		
基準Ⅱ-B 学生支援	① 学習成果の獲得に向けて教育資源を有効に活用している。		1 教員は、学習成果の獲得に向けて責任を果たしている。			
			④授業内容について授業担当者間での意思の疎通、協力・調整を図っている。	FD推進委員会を中心に、定期的に授業内容の意見交換を行い、授業の改善に役立っている。また健康・スポーツ科学科及び健康・スポーツ学科の合同会議を隔週で実施しており、必要に応じて授業の改善に必要な情報を共有している。さらに健康・スポーツ学科では「教職コース」と「ヘルスケアコース」を開設しており、各コースに関する授業内容や資格関連科目等については担当者間で意見交換をして協力・調整を図っている。		
			⑥学生に対して履修及び卒業に至る指導を行っている。	担任は履修及び卒業に至るまで丁寧に指導を行っている。		
	② 学習成果の獲得に向けて学習支援を組織的に行っている。		3 学習の動機付けに焦点を合わせた学習の方法や科目の選択のためのガイダンス等を行っている。	短大入学時の新入生オリエンテーションにおいて、担任及び学科の教務委員から丁寧に説明し、学生に確認させている。資格取得のガイダンスでは、資格担当教員が随時ガイダンスを開き指導を行っている。		
			4 学生便覧等、学習支援のための印刷物（ウェブサイトを含む）を発行している。	学習支援のための印刷物については、シラバスに記載し履修便覧等を発行している。		
			6 学習上の悩みなどの相談にのり、適切な指導助言を行う体制を整備している。	担任及び運動部活動の顧問は学生の成績を把握し、学生に対して適宜履修指導や卒業に至る単位取得状況をはじめ資格に必要な単位の取得状況などに関して適切に指導を行っている。更に学生は、オフィスアワーを活用し、授業内容に関することをはじめ、単位取得や履修計画などの相談のほか編入学や就職など卒業後の進路に関することなど学生生活全般にわたって相談することができる体制を整えている。		

自己点検・評価シート

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

		自己点検・評価のための観点	現状説明	改善方策 (予定含む)	改善時期
基準Ⅲ-A 人的資源	② 専任教員は、教育課程編成・実施の方針に基づいて教育研究活動を行っている。	1 専任教員の研究活動（論文発表、学会活動、国際会議出席等、その他）は教育課程編成・実施の方針に基づいて成果をあげている。			